

うつのみや人づくりビジョン策定懇談会（第4回）会議録

日時 平成16年8月27日（金） 午後1時00分～午後3時00分

場所 市役所 教育委員室

出席者

〔委員〕太田周，青柳宏，中村正之，小林順子，若林治美，安久都和夫，遠藤敏幸，
毎澤典子，藤沼千春，麦倉仁巳，船津祥，佐々木英明，渡辺映子，赤羽根肇，
栗坪容子，石井智子，加藤英典

〔事務局〕教育次長，教育次長（学校担当），総務担当主幹，教育企画課長，
学校教育課長，生涯学習課長，文化課長，スポーツ振興課長補佐，
教育センター所長，ほか7名

公開・非公開の別 公開

傍聴者 0名

会議経過

1 開会

2 報告事項

(1) 第3回会議録の確認について

3 協議事項

(1) うつのみや人づくりビジョンにおける「宇都宮らしさ」について

(2) 今後の社会変化，身につけたい資質能力について

(3) 基本理念に掲げる内容と5つの力を身につけるための方策について

(4) 各ライフステージの人づくりにおける家庭，地域，行政，企業の役割と連携の在り方について

(5) 次回会議日程について

4 その他

5 閉会

会議の結果

1 報告事項

(1) 会議録について

報告資料1「第3回会議録」をもとに，事務局より説明し了承を得た。

2 協議事項

- (1) うつのみや人づくりビジョンにおける「宇都宮らしさ」について
協議資料1をもとに，事務局より説明。その後，意見交換を行った。
- (2) 今後の社会変化，身につけたい資質能力について
協議資料2をもとに，事務局より説明。その後，意見交換を行った。
- (3) 基本理念に掲げる内容と5つの力を身につけるための方策について
協議資料3をもとに，事務局より説明。その後，意見交換を行った。
- (4) 各ライフステージの人づくりにおける家庭，地域，行政，企業の役割と連携の在り方について
協議資料4をもとに，事務局より説明。その後，意見交換を行った。
- (5) 次回会議日程について
第5回懇談会の開催日時について協議し，9月28日（火）午前10時00分から開催することとした。

3 その他

- (1) 提言書作成にあたり，協議資料3を専門的な見地から検討するため，4名程度の委員に検討を依頼したい。
会長一任することとし，了承を得る。

発言の要旨

1 うつのみや人づくりビジョンにおける「宇都宮らしさ」について

安久都委員 : 「2 - (1) 高等教育環境」の中で，高い高等教育機関の集積があるとの説明があるが，大学だけでなく大学院の立地状況の記載もあれば，より説得力が出るのではないか。

青柳委員 : 市民が「創造性の育成」を望んでおり，本市が工業都市であるという視点から「科学技術やものづくり」を柱とするという案が出された。そのような視点も重要であるが，芸術・文化をどう位置づけるかを議論することが必要である。

問題解決に直接関係するものだけではなく，人生を豊かにする芸術などは大切な視点であると感じている。

安久都委員 : 創造性の中に，芸術・文化を位置づける必要があると思う。特に，伝統文化は，すぐに身につくものではないので，幼少期から，芸術・文化にふれることが重要である。

- 赤羽根委員 : 産業構造からだけでなく、「人がどう生きていくのか」という幅広い視点からの「創造性」と捉えてはどうか。
- 小林委員 : 宇都宮市が、全国的にどのような位置にあり、今後他の都市とどのように関係しながら発展していくのかを議論することにより、「宇都宮らしさ」が浮き出てくると思う。
- 赤羽根委員 : 身のまわりにある地域の素材を人づくりに活かし、地域が支えあい連携できる人づくりビジョンとするべきであると感じている。
- 石井委員 : お母さんを集めて、読書会を行なったことがある。2年間かけて1冊の本を読み込んだ。時間をかけて行なったことにより、1冊の本から様々な議論ができ、理解も深まった。一方、学校では、「総合的学習の時間」を導入などにより、忙しさが増しているように感じる。学校や地域では、時間をかけてじっくり理解させるような取組も必要ではないか。
- 毎澤委員 : 宇都宮らしさは、ソフト面だけでなく、街づくりなどのハード面の整備まで考慮し、議論することが必要ではないか。例えば、中心部には、八幡山があり、豊郷地区には宇都宮美術館がある。この緑豊かな2つの資源を点在させるのではなく、自然や動物にふれあうという視点に立ち、八幡山から美術館の道路を整備して、つながりを持たせ、街づくりにまで広げていくことにより「宇都宮らしさ」が出てくるのではないか。

2 今後の社会変化、身につけたい資質能力について

- 船津委員 : 資質能力に「広い心、共生の精神」とあり、協調性や思いやりが表現されているが、市民性を考慮し、他の地区からきた人などに対する思いやりや寛容な精神なども考慮して表現してはどうか。
- また、「ふれあい」については、近隣での助け合いなどコミュニティが希薄になっている中、大切なことだと考える。しかし、プライバシーなどに配慮した新たな時代にあった「ふれあい社会」を考えることも大切である。
- さらに、企業や高齢者の視点が重要視されていることは、すばらしいと思う。
- 中村委員 : 「広い心」の中で、「差別、偏見のない」など具体的な表現が入るとより分かりやすくなるのではないか。

- 毎澤委員 : 「差別，偏見」については，資質能力で具体的に入れたらよいか，また，目標で表現したらよいか難しいが表現すべきだと思う。
- 渡辺委員 : 社会変化の階層化の表現で，「失敗してもやり直しのきく仕組み」とあるが，ここでの失敗とは，どのようなことを示しているのか。
- 菊池教育企画課長 : 高校の中途退学者が多いことや終身雇用制が崩壊しているなどの社会状況から，どのような時期からでもやり直しができる仕組みということを示している。
- 栗坪委員 : 社会の階層化が進む中，子どもの受け皿をつくることは重要である。しかし，地域においても，自治会離れが進んでおり，地域で担うだけではなく，まずは，各自治体レベルでの支援が必要ではないか。
- 毎澤委員 : 学校の状況を見ても，階層化の兆しは見られる。子どもの教育環境が2極化している原因としては，親の教育力の低下も考えられる。
- 小林委員 : 資質能力の「創造力」は，個人が創造するという点以外に，個人を取り巻く，環境やシステムを創造するという概念も含めた方が，良いのではないか。そのようにすることにより，差別や偏見のない社会の実現ということも含め，表現できると思う。
- 若林委員 : 社会の階層化については，社会変化のなかで起きているのではなく，社会が抱えている問題であると考えている。人づくりの社会変化のなかで取り上げるものではなく，その前提にあるものであるので，社会変化の中で表現することではないと思う。
- 加藤委員 : 社会の階層化を取り上げると人づくりの範囲が広くなりすぎてしまうと感じている。

3 基本理念に掲げる内容と5つの力を身につけるための方策について

- 毎澤委員 : ライフステージ別目標は，抽象的な表現ではなく，より具体的に表現しなければ，市民に身近に感じてもらえないのではないか。例えば，幼児期については，「感動や生き物を大切に作る心」と表現するのではなく，「誕生や死，生きることを身近に感じます」などとしてはどうか。
- 青柳委員 : 幼児期において重要な点は，まず自分が生きる喜びを感じることであるので，「こうすべき」と固定的に捉えてしまうと，子どもが萎縮してしまうので，この時期の目標は慎重に考えるべきである。

- 毎澤委員 : 企業の役割として、スポーツ、文化の事業に対し、出資や場の提供など協力してもらうことも記載してはどうか。
- 毎澤委員 : 少年期においては、コミュニケーション能力の育成が重要である。「対話力」などと表現してはどうか。
- 栗坪委員 : 子どもだけでなく、今の大人の問題が大きいのではないか。大人のモラルの低下や価値観の多様化などを考えると家庭の教育力をどうサポートするのかを考えることが大切だと思う。
- 小林委員 : 人は様々なものと関わりあいながら、成長していく。すべての市民が人づくりに参加し、連携・協力するという点を市民にアピールしながら、ビジョンを策定する必要がある。

4 各ライフステージの人づくりにおける家庭、地域、行政、企業の役割と連携の在り方について

- 中村委員 : 支援体制まで記載されており、この点も「宇都宮らしさ」になるのではないかと。また、この支援体制で最も重要な部分は、それぞれの連携・協力体制であり、ネットワークの構築であると考え。それぞれの役割を明確にしたうえで、ネットワークの部分をより具体的にすると良いのではないかと。
- 毎澤委員 : 役割も抽象的にし、すべてを網羅するのではなく、地域では、「すべての大人はすべての子どもに望ましいことを行い、注意する。」と、また、企業では、「3年間の育児休暇を確保するなど育児支援システムを構築する。」など具体的に表現した方が、市民全体の目標となり、自分のこととして捉えるのではないかと。
- 青柳委員 : 幼児期において、親との信頼関係の形成は重要なことであるが、親以外の大人との関わりを持つ場をつくり、様々な大人に愛着を持つことは、幼児の発達には大切なので、追加してはどうか。
- 栗坪委員 : やはり「家庭」の役割は、重要であると思う。すべての親が参加していけるようにすることが必要ではないかと。
- 若林委員 : 他人に関わりを持てるような街にするような人づくりができれば、素晴らしいことだと思う。